

---

# 【詩集】かんりん

布袋しぐれ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【詩集】 かんりん

【Nコード】

N2167Y

【作者名】

布袋しぐれ

【あらすじ】

布袋しぐれの詩集、第二弾、『かんりん』

作品名は生まれの季語から頂きました。

感じるままに

広がってゆく

世界

## 空っ風の

ぞうぞうと  
新たな歩みを  
始めよと  
風が鳴く  
空が歌う  
そうして  
揺られる葉が  
私に問いかける

お前はどこへ行きたいのか  
お前はなにになりたいのか

そう問われて  
私は少し躊躇して  
きつと  
自信を持って  
答えた  
少し小さな声にならない  
声で

私は私の野望を果たしたい  
抱いていた夢を叶えたい

時はきたり  
チャンスもなにもかも  
我が手中にあり  
何も恐れることはない  
きつと  
憂うこともない  
このまま突き進めばいい  
私らしく  
力強く  
歩み続けることを  
恐れるなど

私はそう  
いわれた気がするのだ

## からだ

今日のからだは好きだな  
ここの厚さが気に入らないな  
でもこの部分のこの触り心地は好きかも

毎日のように

鏡の前で

自分のウエストと格闘する

モデルみたいに

薄いウエストじゃないし

アイドルみたいに

キレイにくびれてる

ウエストじゃないから

憧れは強い

自制心はチヨット弱め

意識は強いけれど

憧れは時々

チヨット弱め

ここのこの感じ好きじゃない  
あんまり揺れてて形が悪い  
気に入らないな

毎日のように  
見下ろして  
他人と比べる脚

最近流行りの歌手みたいに  
ほっそり素敵な脚じゃない  
今頃の人みたいに長めな  
人形美脚でもない

思いは強くて  
憧れも強くて  
理想は高めな  
わがままな  
私にひつつく  
現実ボディ  
これはこれでいい  
そう思える日がくるのだろうか

## 充実感

疲れてて

疲労もたまつて

いっぱいいっぱい

だらしなく

だらつとしたくなるくらい

起き上がりたくなるくらい

それくらい疲れると

なんだか

満たされているなあつて

そう感じる

最近

そう思うようになった

歳を重ねてきたせいなのか

どうだか分からないが

満たされた感じが味わえるというのは

実に幸せだと思える

虚しさも

日々の生活で

混沌と

忙しい

辛い

疲れた

痛い

そういう

全て乗り越えられれば

それが充実感にやがて変わることを

私は知っているつもり

幸せ

これは幸せ

そしてこれは充実感

きつと満たされている証拠だって

私は分かる気がする

ふと

短い

その一瞬

その瞬間

いつときだけ

短いそのときだけ

不意に

寂しさに駆られて

ひとりだと

痛いほど

この胸に刺さる言葉がある

届きませんか

届けられませんか

届かなくてもいい

眠ったままの想いでいい

あなたに向けた

その視線ひとつ

枯れることもなく

衰えることもない

ひかりを宿して

一夜限りの恋でも

いつそう

構わないと思った

私は誑たぶらかしたつもりはないのに  
周りはそういう  
愛がないと生きていけないのはきつと  
皆同じはずなのに  
私は道を踏み外したみたいに  
思いもまるで一瞬で  
軽いみたいに

そうじゃない  
一生懸命に愛しても  
返ってこない感情なんて  
ほしい反応がほしいだけで  
ほしいものはほしい  
まるで駄々こねる  
赤子のような  
そついわれても仕方ないから  
私は思い焦がれた  
理想の形の愛がほしくなるの

一夜限りでもいい  
まるで女郎かなんかみたい  
に  
軽い  
安っぽい愛でも構わないと思う  
あなたが一瞬でも  
私のために存在して  
私だけを見て  
私だけのために囁いてくれるのなら

## 声

聞きたい声がある  
抱きしめてほしいくらい  
聞いてみたい  
偶像みたいな声がある

幻なのだろうか  
文字のおこりから  
あなたの声がするみたい

優しく深く響く声は  
温かく  
冷たく  
そうして  
ぼんやりと  
染み渡る

あなたの声がすき  
あなたの声が聞いてみたい  
あなたはどんな声なの

形いっぱい  
温かさも違って

ああ

恋も多い私だから

こっぴどって少しの破片にも  
恋しちゃうんだろっね

ああ

愛おしい

懐かしいみたいに  
よく響く

恋しちゃったんだろっね

あなたの

聞こえない  
声に

## マイナス

やめたいなって  
ふと思う  
そういう瞬間が  
あったりして

目の前のことに集中したいって  
思ったりする

ああ  
案外、ちっぽけだったって  
どうしようもできないって

なんだろう  
あべこべだけれど  
そう考えてしまう瞬間がある

リセットしたい  
新しい自分に出くわしてみたい

私は次のとき  
どうなるんだろうか

新しい刺激を求めるために

この瞬間を生きて

それはプラスに向うための  
マイナスからの脱却  
きつと  
そう

マイナスは今のためにある  
ブルーな気持ち  
ただそれにすぎない

憂鬱

心が頭が  
深いブルーに占められて  
温かさも  
何もかも  
失っていくみたいに

これがマイナスの世界なんだろうな  
ぼやっと  
そう感じて

一生懸命であることが  
少し  
面倒になる

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2167y/>

---

【詩集】かんりん

2011年11月10日05時45分発行